

平成30年 火災統計 〔速報値〕

この統計は速報値として計上していますのでご注意ください。また、鹿児島県は概数値、
全国は未記載としています。統計数値が確定したら再度確定統計としてお知らせします。

平成31年2月編集
熊毛地区消防組合
消防本部 予防課

目 次

平成30年1月から12月までの火災概要

(1)	火災概要	1
(2)	火災件数	1
(3)	損害額と焼失面積、焼損棟数	1
(4)	出火原因	1
(5)	死傷者	1
(6)	出火率	1
1	平成30年火災一目統計	2
2	火災概況	
	[1] 熊毛地区消防組合（平成29年と平成30年の比較）	3
	[2] 市町別（1市3町）	4
3	月別火災発生状況	5
4	曜日別火災発生状況	5
5	時間別火災発生状況	6
6	建物用途別火災発生状況	7
7	出火箇所別火災発生状況	8
8	出火原因別火災発生状況	9
9	覚知別火災発生状況	
	[1] 火災種類別	10
	[2] 市町別	10
10	初期消火の状況	
	[1] 初期消火の実施状況	11
	[2] 初期消火を実施した者	11
11	気象と火災	
	[1] 天候と火災	12
	[2] 火災警報発令中の火災	12
	[3] 風向と火災	12
	[4] 風速と火災	12
	[5] 気温と火災	13
	[6] 湿度と火災	13
12	過去5年間の月別火災発生状況	14
13	過去10年間の火災による死傷者発生状況	14
14	年別火災発生状況及び出火率の推移	15
15	損害額	16
16	ハカマ焼き火災	16

平成 30 年 1 月から 12 月までの火災概要

(1) 火災概要

平成 30 年 1 月から 12 月までにおける火災概要は、火災件数 42 件、焼損棟数 19 棟、焼損床面積 1,266 ㎡、焼損表面積 29 ㎡、車両 3 台、その他の空地田畑等の焼損面積 19,368 ㎡、り災世帯数 15 世帯、り災人員 22 人、損害額 45,916 千円、死者 4 名、負傷者 4 名となっている。

(2) 出火件数は減少、1ヶ月平均3.5件発生

建物火災は全火災の 28.6%、その他の火災は全火災の 61.9%

出火件数は 42 件で前年より 14 件の減少がみられる。

火災の発生状況を火災種別ごとにみると、その他の火災が 26 件 (61.9%) と最も多く、次いで建物火災 12 件 (28.6%)、車両火災 3 件 (7.1%)、林野火災 1 件 (2.4%) となっている。これらを前年と比べると、建物火災が 4 件、林野火災が 1 件の増加で、その他の火災が 19 件の減少となり、車両火災は前年と同数である。

(3) 損害額と焼失面積、焼損棟数

平成 30 年中の損害額は 45,916 千円で、前年より 37,059 千円増加した。増加した要因としては、建物火災件数及び焼損棟数の増加により損害額が増えたことが主な原因である。

損害の内訳は、建物火災による損害が全体の 99.2% で、車両火災・爆発・その他の火災の損害額が 0.8% となっている。

建物焼損床面積は 1,266 ㎡で前年に対し 872 ㎡の増加、建物焼損表面積は 29 ㎡で前年に対し 25 ㎡の増加となっている。

その他の火災の空地、田畑等の焼損面積については 19,368 ㎡で前年より 12,805 ㎡の減少となっている。

焼損棟数は 19 棟で前年に対して 10 棟の増加、り災世帯は 15 世帯で前年より 11 世帯増加となっている。

(4) 出火原因

平成 30 年中の全火災 42 件を出火原因別にみると「たき火」が 17 件と全火災の 40.5% を占め「火入れ」、「こんろ」、「電気機器」の順になっている。

また、出火原因第 1 位の「たき火」と第 2 位の「火入れ」が出火原因の 59.5% を占めており、過去 10 年間においても上位を占めている。

これは田畑の枯れ草焼等からの火災が主なものであり、熊毛地区管内（種子島）でよくみられるサトウキビのハカマ焼きの火災（9 件）も含まれる。

(5) 死傷者

平成 30 年中の火災による死者は 4 名で、消防組合発足以来最多となっている。

負傷者は 4 名発生しており、前年より 1 名減少している。

(6) 出火率

当熊毛管内の出火率は、10.20 件/万人で、市町別にみても西之表市 11.66 件/万人、中種子町 15.66 件/万人、南種子町 12.53 件/万人、屋久島町 4.00 件/万人となっており、屋久島町以外は全国平均及び県平均より大幅に高い傾向にある。

1.平成30年 火災一目統計

★ 火災件数

全国	件
鹿児島県(概数值)	605 件
熊毛地区消防組合	42 件

★ 死傷者数

全国	死者	人	負傷者	人
鹿児島県(概数值)	死者	23 人	負傷者	63 人
熊毛地区消防組合	死者	4 人	負傷者	4 人

★ 火災世帯数

全国	世帯
鹿児島県(概数值)	253 世帯
熊毛地区消防組合	15 世帯

★ 損害額

全国	千円
鹿児島県(概数值)	1, 192, 710 千円
熊毛地区消防組合	45, 916 千円

2 火災概況

[1] 熊毛地区消防組合 (平成 29 年 と 平成 30 年の1月から12月までの比較)

区 分	年 別	
	平成 29 年	平成 30 年
火 災 件 数	56 件	42 件
建物火災	8 件	12 件
(うち住宅)	(3 件)	(7 件)
林野火災	0 件	1 件
車両火災	3 件	3 件
船舶火災	0 件	0 件
航空機火災	0 件	0 件
その他火災	45 件	26 件
焼 損 棟 数	9 棟	19 棟
全 焼	4 棟	11 棟
半 焼	0 棟	3 棟
部 分 焼	3 棟	5 棟
ぼ や	2 棟	0 棟
建物焼損床面積	394 m ²	1,266 m ²
建物焼損表面積	4 m ²	29 m ²
林野焼損面積	3 a	1 a
その他空地・田畑等焼損面積	32,173 m ²	19,368 m ²
損 害 額	8,857 千円	45,916 千円
り 災 世 帯	4 世帯	15 世帯
全 損	2 世帯	12 世帯
半 損	0 世帯	1 世帯
小 損	2 世帯	2 世帯
り 災 人 員	7 人	22 人
死 者	0 人	4 人
負 傷 者	5 人	4 人
1日平均火災件数	0.2 件	0.1 件
1ヶ月平均火災件数	4.7 件	3.5 件
1ヶ月平均焼損棟数	0.8 棟	1.6 棟
1ヶ月平均焼損床面積	32.8 m ²	105.5 m ²
1ヶ月平均損害額	738.1 千円	3,826.3 千円
1ヶ月平均り災世帯	0.3 世帯	1.3 世帯
1ヶ月平均り災人員	0.6 人	1.8 人

※ 小数点によるものは、小数点第2位を四捨五入するものとする。

[2] 各市町別

市 町		西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町
区 分					
火 災 件 数		18 件	12 件	7 件	5 件
	建 物 火 災	4 件	2 件	3 件	3 件
	(うち住宅)	(3 件)	(1 件)	(件)	(3 件)
	林 野 火 災	件	1 件	件	件
	車 両 火 災	2 件	件	件	1 件
	船 舶 火 災	件	件	件	件
	航 空 機 火 災	件	件	件	件
	そ の 他 火 災	12 件	9 件	4 件	1 件
焼 損 棟 数		5 棟	6 棟	2 棟	6 棟
	全 焼	3 棟	4 棟	棟	4 棟
	半 焼	1 棟	1 棟	1 棟	棟
	部 分 焼	1 棟	1 棟	1 棟	2 棟
	ぼ や	棟	棟	棟	棟
建物焼損床面積		618 m ²	251 m ²	69 m ²	328 m ²
建物焼損表面積		5 m ²	4 m ²	9 m ²	11 m ²
林野焼損面積		a	1 a	a	a
その他空地・田畑等焼損面積		8,965 m ²	2,255 m ²	5,629 m ²	2,519 m ²
損 害 額		17,266 千円	3,672 千円	5,774 千円	19,204 千円
り 災 世 帯		8 世帯	2 世帯	1 世帯	4 世帯
	全 損	7 世帯	1 世帯	世帯	4 世帯
	半 損	1 世帯	世帯	世帯	世帯
	小 損	世帯	1 世帯	1 世帯	世帯
り 災 人 員		12 人	3 人	3 人	4 人
死 者		2 人	人	1 人	1 人
負 傷 者		3 人	1 人	人	人
1日平均火災件数		0.05 件	0.03 件	0.02 件	0.01 件
1ヶ月平均火災件数		1.5 件	1.0 件	0.6 件	0.4 件
1ヶ月平均焼損棟数		0.4 件	0.5 件	0.2 件	0.5 件
1ヶ月平均焼損床面積		51.5 m ²	20.9 m ²	5.8 m ²	27.3 m ²
1ヶ月平均損害額		1,439 千円	306 千円	481 千円	1,600 千円
1ヶ月平均り災世帯		0.7 世帯	0.2 世帯	0.1 世帯	0.3 世帯
1ヶ月平均り災人員		1.0 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人

3. 月別火災発生状況

種別 月別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
1月	1	1	1			1	4
2月	2					2	4
3月	1					9	10
4月	2					4	6
5月	2					2	4
6月						2	2
7月			1				1
8月	1		1			2	4
9月						1	1
10月						3	3
11月	1						1
12月	2						2
合計	12	1	3	0	0	26	42

4. 曜日別火災発生状況

種別 曜日	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
日	1					7	8
月	2					4	6
火						4	4
水	4	1	1				6
木	3		2			4	9
金	1					2	3
土	1					5	6
不明							0
合計	12	1	3	0	0	26	42

5. 時間別火災発生状況

時間 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
0時から1時未満	1						1
1時から2時未満							0
2時から3時未満							0
3時から4時未満							0
4時から5時未満						1	1
5時から6時未満	1					1	2
6時から7時未満	1						1
7時から8時未満			1				1
8時から9時未満	2	1					3
9時から10時未満	2		2			1	5
10時から11時未満						2	2
11時から12時未満						1	1
12時から13時未満	2					2	4
13時から14時未満	1					3	4
14時から15時未満						7	7
15時から16時未満						4	4
16時から17時未満						4	4
17時から18時未満							0
18時から19時未満							0
19時から20時未満							0
20時から21時未満							0
21時から22時未満							0
22時から23時未満	1						1
23時から24時未満	1						1
不明							0
合計	12	1	3	0	0	26	42

6. 建物用途別火災発生状況

区 分 用途(消防法施行令別表第1)	棟数	火元の焼損区分				延焼区分			
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや
専用住宅	9	6				1	1	1	
併用・兼用住宅	0								
共同住宅	1	1							
劇場・集会場等 (第1項イ・ロ)	0								
キャバレー・遊技場・カラオケボックス等 (第2項イ・ロ・ハ)	0								
料理店・飲食店等 (第3項イ・ロ)	1		1						
店舗・百貨店等 (第4項)	0								
ホテル・旅館・寄宿舎等 (第5項イ・ロ)※共同住宅を除く	1			1					
病院・診療所・助産所 (第6項イ)	0								
老人ホーム・障害者支援施設等 (第6項ロ)	0								
老人サービスセンター・保育所等 (第6項ハ)	0								
幼稚園・特別支援学校 (第6項ニ)	0								
小・中・高等学校等 (第7項)	0								
図書館・博物館 (第8項)	0								
公衆浴場等 (第9項イ・ロ)	0								
車両停車場・航空機発着場等 (第10項)	0								
神社・寺院等 (第11項)	0								
工場・作業場等 (第12項イ・ロ)	0								
車庫・格納庫等 (第13項イ・ロ)	0								
倉庫 (第14項)	0								
事業所等 (第15項)	0								
複合用途防火対象物 (第16項イ・ロ)	0								
その他の建物・工作物等	7		1	1		3		2	
合 計	19	7	2	2	0	4	1	3	0

7. 出火箇所別火災発生状況

出火箇所		件数		出火箇所		件数	
		平成 29 年	平成 30 年			平成 29 年	平成 30 年
建築物等に 関する 箇所	居室	1	4	林野	原野		
	押入・納戸				牧屋		
	玄関				天然林		1
	広間・ホール				人工林		
	廊下			車両・船舶に関する箇所	機関部分	2	3
	台所	2			運転席		
	寝室				車両外周部		
	便所				荷台・トランク		
	浴室				その他	1	
	洗面所		1	その他	置場		
	洗濯場	1			電柱類		
	トイレ				門・さく等		
	湯沸室(場)				競技場		
	作業場・工場				道路		
	調理室(場)		1		トンネル		
	ステージ・舞台				広告塔		
	機械・設備室				やぐら		
	車庫				河川敷等	1	
	屋内駐車場				荒地		
	屋外駐車場				空地	2	
	一般倉庫	2	2		田畑	26	22
	危険物倉庫・貯蔵庫				土手	1	
	材料・燃料置場		1	墓地			
	店舗・客室部分		1	雑木林			
	事務室		1	竹やぶ			
	教育・教養・資料室			火焚場			
建物外周部			ごみ集積場				
屋根裏・天井裏			敷地内	4			
休息室			空家				
養畜舎			その他	11	3		
上記以外	2		不明・調査中		2		
				合計	56	42	

8. 出火原因別火災発生状況

出火原因種別	件 数		出火原因種別	件 数	
	平成 29 年	平成 30 年		平成 29 年	平成 30 年
たばこ	2		配線器具	1	1
こんろ	2	2	交通機関内配線		1
内)食用油の加熱着火			火遊び		
かまど			マッチ・ライター		
風呂かまど			焚き火 ※1	19	17
炉			溶接機・切断機		
焼却炉			灯火		
ストーブ	1		衝突の火花		
こたつ			取灰	1	
ボイラー			火入れ ※2	15	8
煙突・煙道			放火		
排気管			放火の疑い		
電気機器		2	その他	7	3
電気装置	2	1	不明	4	5
電灯・電話等の配線	1		調査中		1
内燃機関	1	1	合 計	56	42

※1 焚き火とは、燃える物を集めて火を入れる行為のこと。

※2 火入れとは、草等を刈ったあとそのままの状態焼却したもののこと。

9. 覚知別火災発生状況

[1] 火災種類別

覚知別 \ 区分	建物	林野	車両	その他	船舶	航空機	合 計
119 (加入)	4			1			5
119 (携帯)	6			13			19
加入電話(加入)				4			4
加入電話(携帯)	1	1	3	8			13
駆け込み通報							0
事後聞知	1						1
その他							0
合 計	12	1	3	26	0	0	42

[2] 市町別

覚知別 \ 市町	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	合 計
119(加入)	2	1		2	5
119(携帯)	10	4	3	2	19
加入電話(加入)	1	2	1		4
加入電話(携帯)	5	5	2	1	13
駆け込み通報					0
事後聞知			1		1
その他					0
合 計	18	12	7	5	42

10. 初期消火の状況

[1] 初期消火の実施状況

器具・方法	区分	実施した		実施せず
		成 功	不 成 功	
各種消火器 ※1		2	2	13
各種消火設備 ※2				
動力消防ポンプ設備				
乾燥砂				
水バケツ		2	2	
水道・浴槽等の水をかける			6	
布団・毛布・衣類等で覆う				
たたき消す・もみ消す		1	10	
溜め水				
土をかぶせる			2	
その他			2	
合 計		5	24	

※1 各種消火器とは、水・酸アルカリ・強化液・泡・二酸化炭素・粉末・ハロゲン化物消火器をいう。

※2 各種消火設備とは、屋内消火栓・スプリンクラー・水噴霧・泡・二酸化炭素・ハロゲン化物・粉末・屋外消火栓設備をいう。

[2] 初期消火を実施した者

初期消火者区分	火元の 出火行為者	火元以外 の出火行為者	火元家族	火元関係者	隣付 近の者 人	通行人	その他	合 計
件 数	10	12		2	2	2	1	29

11. 気象と火災

[1] 天候と火災

天 候	火災件数	内)建物火災
快晴		
晴れ	27	5
曇り	11	3
雨	4	4
不明		
合計	42	12

※1 火災警報とは、消防法第22条第3項(熊本地区消防組合火災予防条例施行規則第5条)の規定による警報をいう。

[2] 火災警報※1と火災

区 分	発令中	発令なし
建物火災		12
林野火災		1
車両火災		3
船舶火災		
航空機火災		
その他火災		26
不 明		
合 計	0	42

[3] 風向と火災

風 向	火災件数	内)建物火災	風 向	火災件数	内)建物火災
北	2		南南西		
北北東	1		南西		
北東	2	1	西南西	1	
東北東	4	3	西	3	1
東	3		西北西	5	
東南東	4	1	北西	8	2
南東	3	1	北北西		
南南東	3	2	無風		
南	3	1	風速不明		
			合 計	42	12

[4] 風速と火災

風 速	火災件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
無風状態	0						
1m以上2m未満	4						4
2m以上3m未満	3			1			2
3m以上4m未満	12	4					8
4m以上5m未満	8	2		1			5
5m以上6m未満	3			1			2
6m以上7m未満	5	2	1				2
7m以上8m未満	2	1					1
8m以上9m未満	3	2					1
9m以上10m未満	0						
10m以上	2	1					1
風速不明	0						
合 計	42	12	1	3	0	0	26

[5] 気温と火災

気温	火災件数	内) 建物火災
5°C未満		
5°C～9°C	1	1
10°C～14°C	9	4
15°C～19°C	12	2
20°C～24°C	9	3
25°C～29°C	9	2
30°C～34°C	2	
35°C以上		
気温不明		
合計	42	12

[6] 湿度と火災

種別 湿度	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
10%未満							0
10%～19%							0
20%～29%							0
30%～39%							0
40%～49%						3	3
50%～59%						4	4
60%～69%	3		1			11	15
70%～79%	4	1	1			8	14
80%～89%	3		1				4
90%～99%	2						2
100%							0
湿度不明							0
合計	12	1	3	0	0	26	42

12. 過去5年間の月別火災発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	4	4	10	6	4	2	1	4	1	3	1	2	42
平成29年	7	9	8	8	5	6	3	1	4	3	1	1	56
平成28年	0	10	10	1	0	1	1	4	3	0	2	5	37
平成27年	5	9	7	1	0	1	1	1	0	8	0	1	34
平成26年	8	5	15	13	4	1	1	1	0	2	2	3	55

13. 過去10年間の火災による死傷者発生状況

死者数(平成30年の死者は4名)

	建物	林野	車両	航空機	その他	合計
平成30年	3 (2)				1 (1)	4 (3)
平成29年						0 (0)
平成28年						0 (0)
平成27年						0 (0)
平成26年						0 (0)
平成25年	2 (0)					2 (0)
平成24年						0 (0)
平成23年	1 (1)	1 (1)			1 (1)	3 (3)
平成22年	1 (1)		1 (0)			2 (1)
平成21年	1 (0)				1 (1)	2 (1)

※ ()内にあつては、高齢者(満65歳以上)の人数

負傷者数(平成30年の負傷者は4名発生)

	建物	林野	車両	航空機	その他	合計
平成30年	1 (1)				3 (3)	4 (4)
平成29年	2 (1)				3 (2)	5 (3)
平成28年	1 (1)		1 (0)		2 (2)	4 (3)
平成27年	1 (1)					1 (1)
平成26年	1 (1)				2 (0)	3 (1)
平成25年	1 (1)				3 (2)	4 (3)
平成24年						0 (0)
平成23年	3 (3)				3 (2)	6 (5)
平成22年	4 (1)					4 (1)
平成21年	3 (0)				2 (2)	5 (2)

※ ()内にあつては、高齢者(満65歳以上)の人数

14. 年別火災発生状況及び出火率推移〔熊毛地区消防組合〕

年 別	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	合 計	出火率
平成30年	18	12	7	5	42	10.20
平成29年	14	20	15	7	56	13.34
平成28年	12	13	5	7	37	8.66
平成27年	11	13	6	4	34	7.84
平成26年	16	20	10	9	55	12.51
平成25年	16	23	18	18	75	16.82
平成24年	19	11	10	6	46	10.25
平成23年	33	17	12	4	66	14.58
平成22年	31	21	9	11	72	15.75
平成21年	27	25	12	12	76	16.54
平成20年	30	23	14	9	76	16.31
平成19年	33	27	17	10	87	18.43
平成18年	29	31	18	13	91	19.04
平成17年	15	23	8	15	61	12.58
平成16年	20	23	25	20	88	17.95
平成15年	31	22	7	15	75	15.21
平成14年	27	19	18	12	76	15.39
平成13年	27	18	15	13	73	14.71
平成12年	30	25	17	9	81	16.21
平成11年	38	24	21	11	94	18.69
平成10年	19	24	19	9	71	14.07
平成9年	31	21	12	14	78	15.33
平成8年	38	31	22	13	104	20.38
平成7年	44	33	19	5	101	19.71
平成6年	30	6	10	17	63	12.26
平成5年	26	11	11	14	62	11.99
平成4年	16	13	10	16	55	10.51
平成3年	21	19	10	4	54	10.15
平成2年	23	12	18	17	70	12.96
平成1年	24	23	15	13	75	13.89
合 計	705	571	388	320	1,996	

15. 損害額(単位:千円)

	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	合計
1月	7,188							7,188
2月	10,590							10,590
3月	5,354							5,354
4月	3,672							3,672
5月	11,821					40		11,861
6月								0
7月			30					30
8月							315	315
9月								0
10月						3		3
11月	29							29
12月	6,874							6,874
合計	45,528	0	30	0	0	43	315	45,916

16. ハカマ焼き火災

○ ハカマ焼き火災とは

収穫後のサトウキビのハカマ(葉の部分)を処分するために行う野焼きの事を種子島では「サトウキビのハカマ焼き」と言い、冬から春にかけての風物詩となっている。種子島で発生する火災の多くは、このハカマ焼きが原因の火災となっている。

なぜ、火をつけて焼くかについては害虫駆除のためと言われているがはっきりとした根拠はない模様。現在は、ハカマ焼きによる火災件数を減らすため、各市町ではハカマを小さく切り刻み堆肥化する等の指導を行っているところである。

○ ハカマ焼きが原因で発生した火災件数〔平成30年〕

	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1月						1
2月						2
3月						5
4月						1
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
合計	0	0	0	0	0	9
総計	9件					

※ 平成29年は9件となっており、本年と同数である。

○ ハカマ焼きによる火災の死者・負傷者

平成30年中はハカマ焼きによる火災の死者が1名発生し、負傷者は2名で前年比1名増加である。ハカマ焼きによる火災発生件数は減少していないが、田畑の枯草焼き・土手焼きによるその他の火災は前年比19件の大幅減少となっている。